

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月5日  
神奈川中央交通株式会社  
(東証プライム 9081)

## 2026年3月期第3四半期 決算実績

売上高:961億円(対前年+7.9%)、営業利益:69億円(対前年△7.3%)、  
親会社株主に帰属する四半期純利益:38億円(対前年△36.0%)

売上高:自動車販売事業における販売台数の増加などにより増収

営業利益:上記増収も、旅客自動車事業における設備投資拡大による減価償却費の増加や従業員の待遇改善により減益

四半期純利益:前期に繰延税金資産の一部を再計上したことの反動などにより減益

旅客自動車事業	不動産事業	自動車販売事業	その他の事業
売上高:441億円(+2億円)	売上高:50億円(+3億円)	売上高:331億円(+54億円)	売上高:221億円(△8億円)
営業利益:26億円(△11億円)	営業利益:18億円(+0億円)	営業利益:13億円(+2億円)	営業利益:12億円(+2億円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旅客需要は堅調に推移</li> <li>◆減価償却費や人件費が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆戸建分譲の販売戸数が増加</li> <li>◆賃貸施設の一部テナント解約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商用車販売および輸入車販売の販売台数が増加</li> <li>◆車両整備収入が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運賃箱など部品販売が反動減</li> <li>◆商用車架装の受注が増加</li> <li>◆飲食事業にて新規出店を実施</li> </ul>

## 2026年3月期 連結業績予想・配当予想

連結業績予想は2025年10月公表値を、配当予想は2025年4月公表値を据え置き

- ◆連結業績予想
  - ・概ね計画通りに推移
- ◆配当予想
  - ・年間配当金は1株当たり90円を予定

# 2026年3月期 第3四半期 決算概要

---

(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減
売上高	96,128	89,094	7,033 (7.9%)
旅客自動車事業	44,189	43,927	261
不動産事業	5,036	4,714	321
自動車販売事業	33,176	27,724	5,452
その他の事業	22,132	22,973	△ 840
調整額	△ 8,405	△ 10,245	1,839
営業利益	6,922	7,469	△ 546 (△ 7.3%)
旅客自動車事業	2,633	3,767	△ 1,134
不動産事業	1,885	1,869	15
自動車販売事業	1,391	1,152	239
その他の事業	1,226	945	281
調整額	△ 213	△ 265	51
経常利益	7,022	7,767	△ 744 (△ 9.6%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,899	6,090	△ 2,191 (△ 36.0%)
1株当たり四半期純利益	317.79円	496.35円	△ 178.56円

減価償却費	4,703	4,041	661
EBITDA(営業利益+減価償却費)	11,626	11,511	114

(単位:百万円)

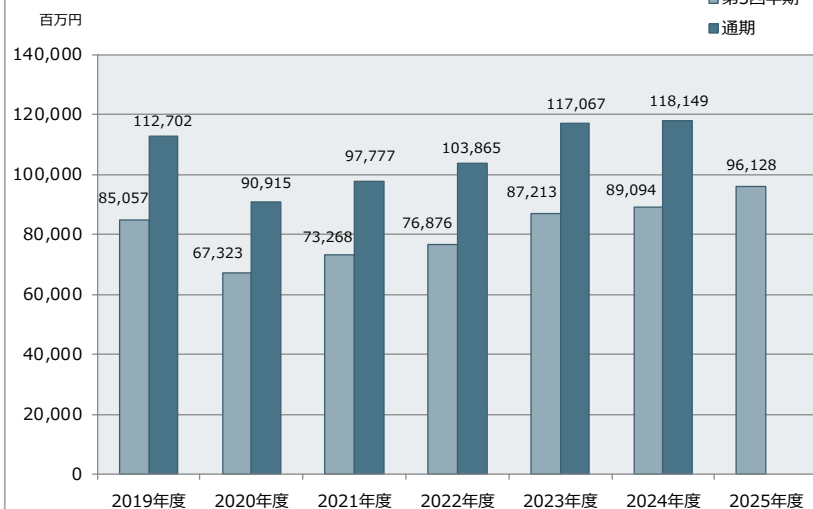
	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減・主な要因	
営業外収益	779	679	99 (14.6%)	受取配当金+157 助成金収入△77
営業外費用	679	382	296 (77.6%)	支払利息+227
特別利益	404	425	△ 21 (△ 5.0%)	投資有価証券売却益△102 固定資産売却益△47 補助金収入+129
特別損失	812	700	112 (16.0%)	固定資産圧縮損+119

# 連結貸借対照表

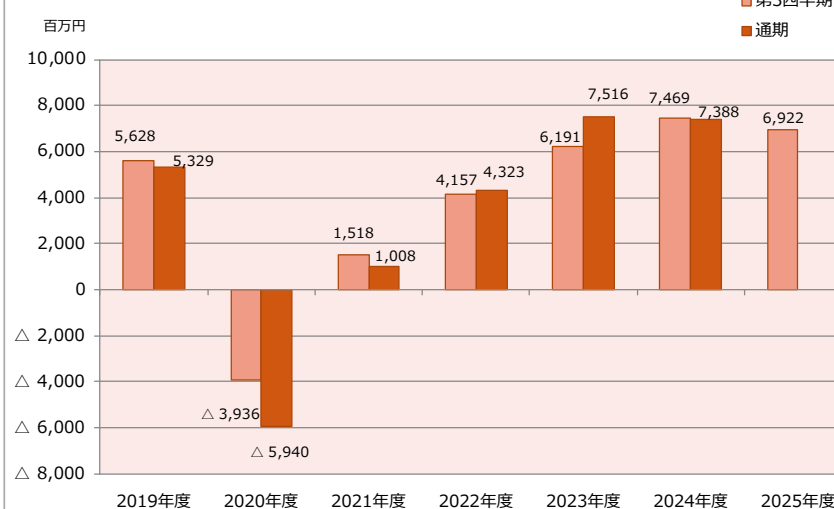
(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期	増減・主な要因	
流動資産	33,966	31,874	2,092 (6.6%)	商品及び製品+1,224 受取手形、売掛金及び契約資産+588
固定資産	143,242	133,570	9,672 (7.2%)	有形固定資産+5,907(土地他) 投資有価証券+4,466
資産合計	177,209	165,444	11,764 (7.1%)	
流動負債	53,002	56,952	△ 3,950 (△ 6.9%)	1年内償還予定の社債△5,000 賞与引当金△1,419 その他の流動負債+2,225(前受収益他)
固定負債	54,709	45,089	9,620 (21.3%)	長期借入金+4,966 社債+3,000 その他の固定負債+1,842(繰延税金負債他)
負債合計	107,712	102,042	5,670 (5.6%)	
純資産合計	69,497	63,402	6,094 (9.6%)	その他有価証券評価差額金+2,898 利益剰余金+2,733
負債純資産合計	177,209	165,444	11,764 (7.1%)	
1株当たり純資産額	5,162.47円	4,704.37円	458.10円	
自己資本比率	35.7%	34.9%	0.8P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	65,879	61,876	4,003	借入金及び社債+3,945 リース債務+57

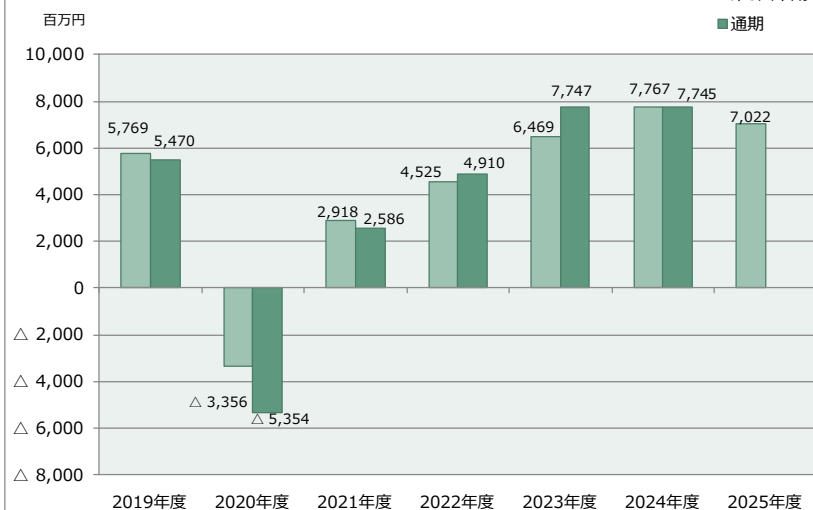
## 売上高



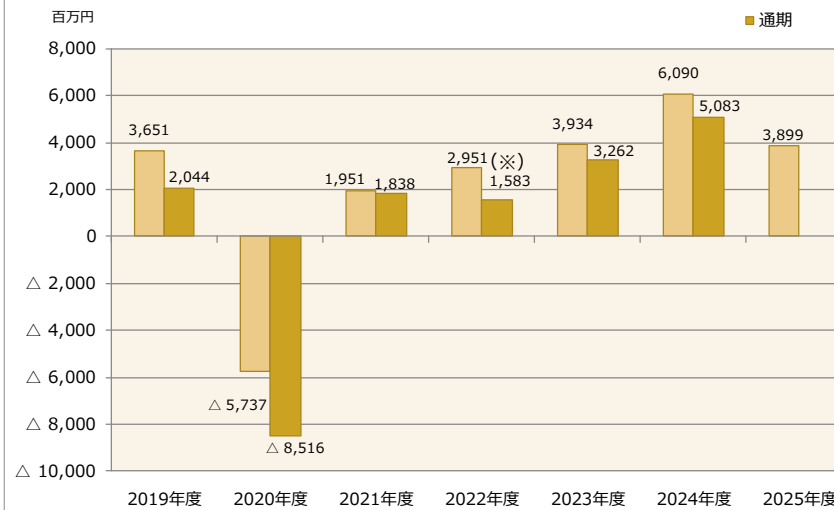
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を2024年度の期首より適用しており、2022年度通期実績について、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。

神奈川中央交通グループ 子会社16社、関連会社2社  
うち 連結子会社 16社  
持分法適用会社 1社(大山観光電鉄(株))

## 〈主な連結会社〉

### ■ 旅客自動車事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

### ■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

### ■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### ■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

- ・2025年4月1日に神奈川中央交通(株)は神奈川中央交通東(株)および神奈川中央交通西(株)を吸収合併いたしました。
- ・2025年4月1日に横浜ビルシステム(株)は東光(株)の全株式を取得し、同社は当社の連結子会社となりました。



(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減・主な要因	
売上高	44,189	43,927	261 (0.6%)	乗合バス事業+26 貸切バス事業+95 タクシー事業+139
営業利益	2,633	3,767	△ 1,134 (△ 30.1%)	乗合バス事業△1,168 貸切バス事業+2 タクシー事業+31

## 【対前年】

乗合バス事業は、旅客需要が堅調に推移したことにより増収、設備投資拡大に伴う減価償却費や待遇改善による人件費の増加により減益  
 貸切バス事業は、教育旅行の受注増に加え、契約単価の向上を図ったことにより増収増益  
 タクシー事業は、一車当たりの収入が増加したことなどにより増収増益

※参考 乗合バス事業輸送人員

(単位:百万人)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率
定期外	99	103	△ 3.7%
定期	58	53	9.1%
合計	157	156	0.7%

(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減・主な要因	
売上高	5,036	4,714	321 (6.8%)	賃貸事業△275 分譲事業+597
営業利益	1,885	1,869	15 (0.8%)	賃貸事業△82 分譲事業+98

## 【対前年】

賃貸事業は、一部テナントの解約などにより減収減益

分譲事業は、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収増益

(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減・主な要因	
売上高	33,176	27,724	5,452 (19.7%)	商用車販売事業+4,326 輸入車販売事業+1,125
営業利益	1,391	1,152	239 (20.8%)	商用車販売事業+327 輸入車販売事業△87

## 【対前年】

商用車販売事業は、トラックの販売台数が増加したことや、車両整備収入の増加などにより増収増益

輸入車販売事業は、中古車販売台数が増加したことにより増収、売上原価の増加により減益

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減
トラック	1,576	1,290	286
バス	154	126	28
輸入車	369	378	△ 9

(単位:百万円)

	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減・主な要因	
売上高	22,132	22,973	△ 840 (△ 3.7%)	流通事業△1,979 商用車架装事業+940 飲食事業+308
営業利益	1,226	945	281 (29.7%)	商用車架装事業+245 ビル管理事業+28 飲食事業+26

## 【対前年】

流通事業は、前期のバス運賃箱販売の反動により減収

商用車架装事業は、カプラ架装の受注台数が増加したことなどにより増収増益

飲食事業は、「ドトールコーヒーショップ」などの新規出店や客単価の上昇を図ったことなどにより増収増益

# 2026年3月期 業績予想 (2025年10月28日公表値)

---

# 2026年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想 (2025年10月公表値)	2025年3月期	増減	2026年3月期 業績予想 (2025年4月公表値)	増減
売上高	124,900	118,149	6,750 (5.7%)	119,700	5,200 (4.3%)
旅客自動車事業	57,680	57,219	460	57,640	40
不動産事業	7,440	6,723	716	7,590	△ 150
自動車販売事業	43,620	38,586	5,033	38,780	4,840
その他の事業	29,200	30,788	△ 1,588	28,330	870
調整額	△ 13,040	△ 15,168	2,128	△ 12,640	△ 400
営業利益	5,610	7,388	△ 1,778 (△ 24.1%)	4,870	740 (15.2%)
旅客自動車事業	1,830	2,799	△ 969	1,700	130
不動産事業	1,460	2,179	△ 719	1,640	△ 180
自動車販売事業	1,380	1,405	△ 25	770	610
その他の事業	1,360	1,375	△ 15	1,090	270
調整額	△ 420	△ 371	△ 48	△ 330	△ 90
経常利益	5,450	7,745	△ 2,295 (△ 29.6%)	4,650	800 (17.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,860	5,083	△ 2,223 (△ 43.7%)	2,520	340 (13.5%)
1株当たり当期純利益	233.07円	414.28円	△ 181.21円	205.36円	27.71円
売上高営業利益率	4.5%	6.3%	△ 1.8P	4.1%	0.4P
減価償却費	6,570	5,586	983	6,590	△ 20
資本的支出	16,020	13,509	2,510	15,800	220
EBITDA(営業利益+減価償却費)	12,180	12,974	△ 794	11,460	720
有利子負債／EBITDA倍率	6.2倍	4.8倍	1.4P	6.5倍	△ 0.3P
ROE	4.8%	9.1%	△ 4.3P	4.3%	0.5P

※2025年10月公表の業績予想から修正しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 広報・IR担当 TEL:0463-22-8894